

情報公開文書

研究の名称	臀部穿通枝皮弁(GAP flap)による乳房再建の後方視的研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 教授 佐武 利彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 2007年1月から2023年12月までの手術記録より、当院及び横浜市立大学附属市民総合医療センターで臀部の穿通枝皮弁による乳房再建を行った患者さんを対象とします。</p> <p>【研究の目的・意義】 臀部穿通枝皮弁による乳房再建の手術成績や合併症などの安全性を評価し、適切な症例選択のための基準作りを目指します。</p> <p>【研究の方法】 すでに診療において取得されている情報を用い、臀部穿通枝皮弁による乳房再建を行った患者さんの背景（既往歴、喫煙歴等）、乳房再建手術、修正術の内容、合併症、整容的結果等を解析します。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2027年3月31日</p> <p>【利益相反の状況】 利益相反はありません。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 形成外科学会や形成外科系の医学雑誌の医学雑誌で発表をします。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	診療において取得された情報（診療録、手術記録、画像所見、臨床写真等）を用います。研究対象者の個人情報保護に十分配慮し、個人が特定されないように加工をして、研究代表機関である富山大学附属病院へ情報提供されます。本研究の目的以外には利用せず、結果を公表する際は、個人の特定ができる情報は含めません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び機関の長の職名・氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志 横浜市立大学附属市民総合医療センター 病院長 田村 功一
研究資料の開示	研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究代表機関における研究責任者の所属・氏名）	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 教授 佐武利彦
研究対象者等（研究対象者および親族等関係者）からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7460 FAX 076-434-7460 E-mail prs@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 佐武利彦